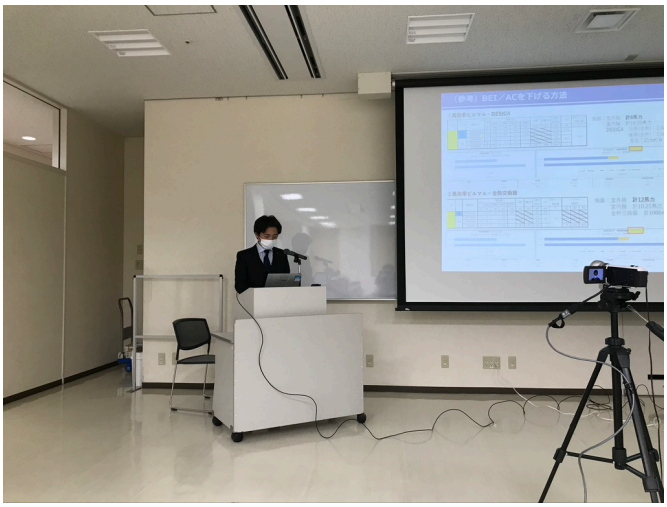
設計事務所向け ZEB の進め方

コロナ禍のなか、本年度初めて開催した支部事業。会場での受講と同時に WEB での配信も行いました。昨年同様に巻渕副支部長が担当して講師と資料を画面に写しだし、音声は会場のマイクから取り出しての配信。カメラは 2 台。他、スイチャーやその他機材持ち込みでの配信作業。巻渕さん以外は理解していない状況で、準備にもそれなりの時間がかかりますが WEB 受講者は快適だろうと思います。



講師：持田　和彦氏
ダイキン HAVC ソリューション北陸株式会社
会場：ウイングウイング高岡　研修室 501
開催日程：　令和 4 年 2 月 18 日（金）
講演時間：18：00～19：30
参加人数：20 人（内 10 名は WEB 視聴）
内容：　改正建築物省エネ法から ZEB の概要説明や ZEB の種類など入り口部分を詳しく資料を見ながら聞き、ZEB 導入の実例の紹介も聞いた。近年は災害時の避難所を ZEB 化することで有事に備える傾向だ。停電時にも自律的に必要なエネルギーを供給できることなど、「レジリエンス強化型 ZEB」という。これらの概念や具体的な条件なども学んだ。また、普及型 ZEB の実例紹介として高岡市で既存建物を ZEB 化した事例について紹介があった。この実例では意外にも断熱化は行わず、設備更新だけでの ZEB 化で補助金を受けたとのことだった。
また、ZEB の進め方も具体的に紹介され、今回の講師でもある ZEB プランナーの役割や仕事の内容も知ることができた。省エネ計算ソフトである WEB プロの説明や設計のポイントも学んだ。公的認定制度についても学び、充実したセミナーであった。

建築士技術向上について

ZEB 化するには補助金を受けることが前提にあるようだ。補助金なしで ZEB 化することは稀でまだまだハードルは高いようだ。しかしながら、ZEH 同様に当然建築士としては知っておくべきことである。新しい技術も日進月歩であり、建築士の技術向上に努めていかなければと思った。建築士会には支部や委員会があり、様々なセミナーを企画している。

参加人数
20 名

会場全体の様子

参加者の距離を確保できるような配列にした。

講師の様子

講師と受講者との距離を十分とることでアクリル板を使わないようにし WEB 配信用カメラが照明反射で見えづらいことにならないようにした。

会場の様子

セミナーWEB 視聴について

セミナーを WEB 視聴できるようにすることは視聴者にとってはとても便利だが、配信する側には大きな負担がある。これからどのようにしていくべきが検討の必要があるように思う。

報告 | 高岡支部・|林　芳宏|